

コロナ感染症の影響により収入が減少した世帯の皆さんへ

家計急変世帯に対する臨時特別給付金

●問い合わせ先 市臨時特別給付金コールセンター（市役所内） ☎288-5222

▶給付額

一世帯あたり10万円



▲詳しくは市ホームページをご覧ください

▶申請期限(申請が必要です)

9月30日(金)

▶給付対象者

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和3年1月から令和4年9月までの間に家計が急変し、世帯全員のそれぞれの1年間の収入見込み額が、住民税非課税水準に相当する額以下となる世帯。

▶収入要件

申請時点の世帯全員のそれぞれの収入(所得)に基づいて判定します。
 ・令和3年1月から令和4年9月まで任意の1か月の個人の収入を12倍(年間収入見込額)し、合計額が住民税非課税水準相当になる人が対象です。
 ・令和3年分の確定申告書、住民税申告書、源泉徴収票などの写しがある場合は、当該写しに基づく判定も可能です。

なお、収入で要件に該当しない場合は1年間の所得により判定します。

※給付対象者、収入要件、申請書様式など詳しくは市ホームページを確認してください

非課税世帯に対する臨時特別給付金(10万円/世帯)

市で非課税の確認が取れない人で、課税者の扶養に入っておらず世帯全員が非課税の場合は、申請により受給できる場合がありますので、総務課へ相談してください。

- 1 親族などからの暴力などを理由に市内に避難している世帯
- 2 基準日(令和3年12月10日)以前に課税であった人の死亡などでその人を除けば非課税となる世帯
- 3 基準日(令和3年12月10日)以前に課税であった人との離婚などで非課税となる世帯

●問い合わせ先

総務課 総務・男女共同参画班 ☎248-1112

任期満了に伴う合志市長選挙を行ないます。

市民の皆さんの大切な一票を投じてください。

※3月13日(日)の告示日に立候補届出のあった候補者が1人である時は、投票は行なわれません



投票所入場券

- ・3月14日(月)から郵送予定です。ただし、3月13日の立候補届出を午後5時で締め切り、その時点で立候補者が1人で無投票となった場合は、発送しません。
- ・投票が行なわれる場合は、3月14日から期日前投票所を開設します。

選挙公報

- ・3月17日(木)の各新聞朝刊で折り込み配布する予定です。ただし、無投票となった場合は、発行しません。

公営ポスター掲示場

- ・3月13日の告示日までにポスター掲示場を設置します。ただし、無投票となった場合は、3月18日以降、速やかに撤去します。
- ※無投票の場合、3月14日～17日の期間は、無投票となったことのお知らせを掲示します

●問い合わせ先 選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎248-1112

3月20日(日)は合志市長選挙の投票日です

投票時間は、**午前7時から午後7時まで**
 第2、第5投票所は午後6時まで

詳しくは、市ホームページをご覧ください



市ホームページ(市長選特設ページ)



①ゴールキーパーを始めた中学生の頃
 ②試合のときに見せる厳しい顔も普段はゆるみ、笑顔が素敵な青年だ
 ③④⑤国立競技場での決勝戦 赤いユニフォームが瑠星さん(写真本人提供)



大津高校3年生 佐藤 瑠星さん(永江団地)

1月10日、第100回全国高等学校サッカー選手権最終日。東京・国立競技場で決勝が行なわれ、初めて決勝に進んだ県代表の大津高校は0-4で青森山田高校に敗れた。

それまで幾度となくピンチをしのいできた大津高の守護神は、ピッチで天を仰いだ。「国立の大舞台で圧倒された。落ち着いていたつもりだったが、身体が動かないような気がした。場慣れの差が出た」と悔しがった。その守護神は、合志中サッカー部出身で、ゴールキーパーの佐藤瑠星さん。瑠星さんは、今大会の優秀選手にも選ばれた。

兄の影響で4歳からサッカーを始めた。合志中に入学後、サッカー部に入部し、ポジションはセンターバックを任されていた。しかし、中学2年生の時、サッカー部の顧問であり元大津高ゴールキーパーコーチの佐藤達朗先生によりゴールキーパーの才能を見出された。当時は振り返り、瑠星さんは「最初は嫌々ながら練習していたが、しだいにやりがいを感じるようになった。今の自分があるの

も、ゴールキーパーへの転向を勧めてくれた佐藤先生のおかげ。優勝の喜びを一番に伝えたい。佐藤先生には感謝の一言しかない」と笑顔で話す。

ゴールキーパーとして強い意識を持ったきっかけは、合志中が県第2代表として出場した第31回九州中学校サッカー大会だという。幼少期からゴールキーパーとしてプレーしてきた選手に比べ経験が浅いことを痛感し、日々の練習を大切に、ワンプレーに集中することを心掛けた。

当時を知る、市サッカー協会前会長の大嶋和博さん(平島)は「恵まれた体格と身体能力の高さが際立っていた。ハイキャッチが特によく、また、素直で人一倍練習していた」と語る。

「自分を信じ続け、ひたむきに努力し続けることが明日のサッカーにつながると思う。子どもたちに勇気を与えられる選手になりたい」という瑠星さんは、先月、日本高校選抜にも選ばれた。今春、筑波大学に進学し、将来はプロ選手を目指している。

夢を追求め、常に上を目指す己との戦いはこれからも続く。